



▲大桃の舞台

うっそうとした杉林に佇む大桃の舞台は、全国でも珍しいかぶと造りのかやぶき屋根。多くの農民歌舞伎が行われてきた舞台です。国指定重要有形民俗文化財になっています。



●古町の大イチョウ

初代河原田盛光によってこの地に植えられたと伝えられ、樹齢八百年を超える県下随一の老樹で、天然記念物として県の指定を受けています。昔は乳の神として信仰され、上州や越後から多数の参拝者がありました。現在も郷土の宝として親しまれています。



●久川城址

伊達政宗の軍勢を迎え撃つために築城され、天然の要塞といわれた久川城。その跡地は今、石碑を残すだけとなっており、村民の憩いの広場として愛されています。



●照国寺の山門

1589年伊達の大軍が伊南の地に入り、久川城の河原田盛次との攻防で焼失してしまった。その後寺の復興とともに建立されたと伝えられる。



●小塩の神楽

1827年に一ノ宮香取神社御用神楽として創始され、現在も小塩の部落に受け継がれている村指定重要無形文化財。保存会によって、神楽舞、ひょっとこ踊り、おかめ踊り、鍾馗舞、和藤内が大事に保存、演じられています。